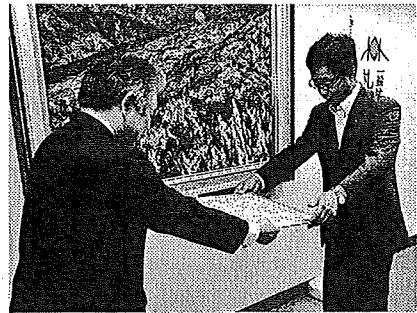


札幌工高から感謝状

現場見学会開催で
札幌建設協会企業に

札幌工業高校は、7月に札幌建設協会が実施した現場見学会の施工者に対し、感謝状を贈った。写真。19日に札幌市中央区の北海道建設会館で感謝状贈呈式が開かれ、建築科の生徒が見学した「施設整備事業の内取水施設国庫補助事業豊平川水道水源水質保全取水堰新設工事」（札幌市発注）を施工する伊藤組土建・勇



建設・一三三北路、土木科の生徒が見学した「石山地区新設小学校新築ほか工事（主体工事）」（札幌市発注）を施工する田中組・

丸竹竹田組の構成員各社に、札幌工高の猪股康行校長が感謝状を手渡した。

猪股校長は「生徒たちが現場見学会で最新の技術、設備に触れることは、人材育成に重要になる。引き続き各工業高校の人材輩出に協力をお願いしたい」と要請した。

JVを代表してあいさつした伊藤組土建の坂田和則常務執行役員は「人材確保や従業員の若返りは道内建設業の喫緊の課題。少しでも生徒の進路選択に効果が

あることを期待し、引き続き取り組んでいきたい」、田中組の大野孝取締役兼専務執行役員は「現場見学を通じ、子どもたちが今まで以上に建設業への理解を深め、興味を持ってもらえればうれしい」と述べ、引き続きの協力を約束した。

7月11日に開催した豊平川水道水源水質保全取水堰新設工事の見学会には土木科の2年生80人、同20日に開催した石山地区新設小学校新築工事には建築科の2年生79人が参加した。